
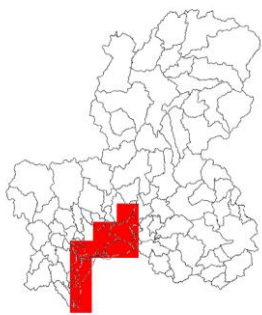


| | | |
|--------|--|---|
| オオトリゲモ | <i>Najas oguraensis</i> Miki | 絶滅危惧I類 |
| | | イバラモ科 |
| 選定理由 | 生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。 | 写真(清水英彦) 標本  |
| 形態の特徴 | 葉は線形で明瞭な鋸歯があり、長さ10-35mm。葉はやや硬く、殆ど反り返らないものから著しく反り返るものまで様々で、変異が大きい。葉鞘の先は切形で鋸歯が出る。県内のイバラモ属の中ではがっしりしたグループである。花期は7-10月。果実は細長い楕円体で、葉腋に1個付く。種子表面の模様は長軸に対して横長(四角形の長辺が種子の長軸に直交)となる。 | |
| 生態的特徴 | 湖沼、溜池、稀に水路などにも生育する沈水性の一年草。 | |
| 分布状況 | 本州・四国・九州・琉球に分布し、岐阜県では県南中部と西部の低地に分布する。 | |
| 減少要因 | 水辺環境の改修工事、水田の改修工事や乾田化、増水による河道の変化、水質悪化。 | |
| 保全対策 | 開発行為からの生育環境の保全。 | |
| 特記事項 | | |
| 参考文献 | 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京. |  |

文責: 清水英彦